

CONTENTS / 目次

P2 ▶ 特集：青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦

P6 ▶ [連載] 地域から魅力発信！「ハッピー♡リレー」〈上北地域〉／地域の旬食材レシピ

P7 ▶ 青森の未来に全力！県職員最前線リポート「三内丸山遺跡から縄文文化の魅力を発信！」／受動喫煙を防止しましょう／むつ湾フェリー平成31年度運航開始

P8 ▶ 平成31年度当初予算／あおりインフォメーション



■表紙制作者からのメッセージ

青森で創業したからこそ、見えた景色

地元・青森にしながら夢を実現するため、フリーのデザイナーとして起業。その後、地元農家で廃棄される野菜を使って商品化した「おやさいクレヨン」は、今や世界各国から認められる青森ブランドへと成長することができました。大自然に恵まれ、農林水産業はもちろん、起業・創業、文化・アート、子育てなどあらゆる面で豊かさを感じる青森県を青森生まれのクレヨンで色とりどりに表現しました。誰もが喜びとやりがいに満ちた「未来」。私が培った経験をさらに青森の「未来」の起業家へと繋いでいきたいと願っています。

木村 尚子 きむら なおこ / 青森市生まれ。県内の専門学校卒業後、情報誌の編集や印刷物製作に従事。2012年独立開業。2014年・代表作「おやさいクレヨン」をリリース。現在、mizuiro株式会社 代表取締役。「青森から日本、そして海外へ」と精力的に販路を拡大中。●web→<https://mizuiroinc.com>

 青森県広報広聴課
公式 Facebook
青森県広報広聴課

 青森県広報広聴課
公式 Twitter
@aomorist

 青森県広報広聴課
公式 Instagram
県民だよりあおり

青森県基本計画とは…

青森県の行政全般に係る基本的な方向性を総合的かつ体系的に示した基本方針です。社会経済環境の変化などを踏まえ5年ごとに策定しています。「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」は、2019年度からスタートし、2023年度までの5年間の計画です。



青森県基本計画

「選ばれる青森」への挑戦

支え合い、共に生きる

4月から、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」がスタートします。

青森県の「多様性」と「可能性」を生かして、県民の皆さんが「ここに生まれて良かった」「ここで暮らして良かった」と思えるような幸せあふれる青森県づくりにチャレンジします！

「選ばれる青森」とは

「選ばれる青森」には、若者の県内定着を促すため、学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」、そして、農林水産品や観光、北海道・北東北の縄文遺跡群など、さまざまな分野での青森県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざしていくという二つの意味があります。

青森県は、全国と比べて、通勤時間が短く、住宅地の価格が低いなど、暮らしやすい環境に恵まれています。

また、インターネットの発達により、青森県と世界が直接つながる時代となりました。本県の「多様性」と「可能性」を世界に届け、国内外から「選ばれる青森」となっていくチャンスが広がっています。

新たなステージに向かつて

最重要課題である人口減少を克服するため、県ではこれまでも「未来は変えることができる」と信じ、農林水産業や観光、県民の健康づくりなどに取り組み、さまざまな分野で着実な成果を挙げてきました。

これまでの成果をさらに伸ばし、定着させ、「選ばれる青森」の実現をめざします。

【教育・人づくり分野】

移住相談件数
254件 (2015年度)
↓
897件 (2017年度)

移住者数
26人 (2015年度)
↓
64人 (2017年度)

【環境分野】

1人一日当たり
ごみ排出量
1,069g (2013年度)
↓
1,004g (2016年度)

【産業・雇用分野】

過去最高！
外国人延べ宿泊者数
289,750人・泊 (2018年速報値)

【産業・雇用分野】

創業・起業者数
43人 (2013年度)
↓
129人 (2017年度)

【産業・雇用分野】

これまでの成果
「経済を回す」取組が、着実に成果を挙げています。

【産業・雇用分野】

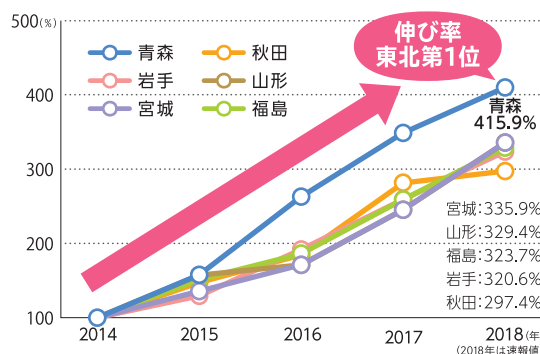
農業産出額
3年連続 (2015~17年)
3,000億円突破
14年連続東北第1位 (2004~17年)

【安全・安心、健康分野】

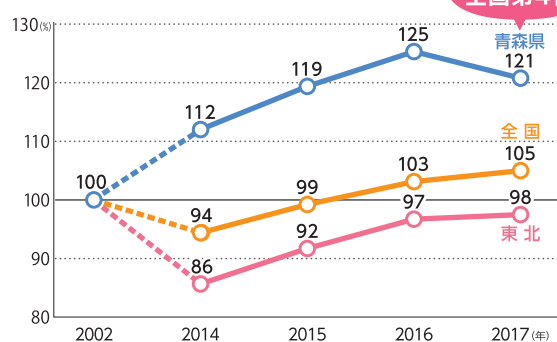
平均寿命
女性 85.34歳 (2010年) → 85.93歳 (2015年)
男性 77.28歳 (2010年) → 78.67歳 (2015年)

男性の伸び幅 全国第3位

■2014年を基準とした外国人延べ宿泊者数の伸び率



■2002年を基準とした農業産出額の伸び率



販売農家1戸あたりの農業産出額
445万円 (2002年) → 988万円 (2017年) 全国第7位

人口減少の克服をめざし、世界へ打って出る

グローバル化の進展やICT(情報通信技術)の急速な進化などにより、私たちの暮らしは大きく変化し、青森県と世界との距離は時間的にも心理的にもさらに近づきます。このような大きな「時代の転換点」を迎える中、人口減少の克服をめざし国内外に目を向け、「世界へ打って出る」という意欲を持って、県民一丸となってチャレンジしていく必要があります。

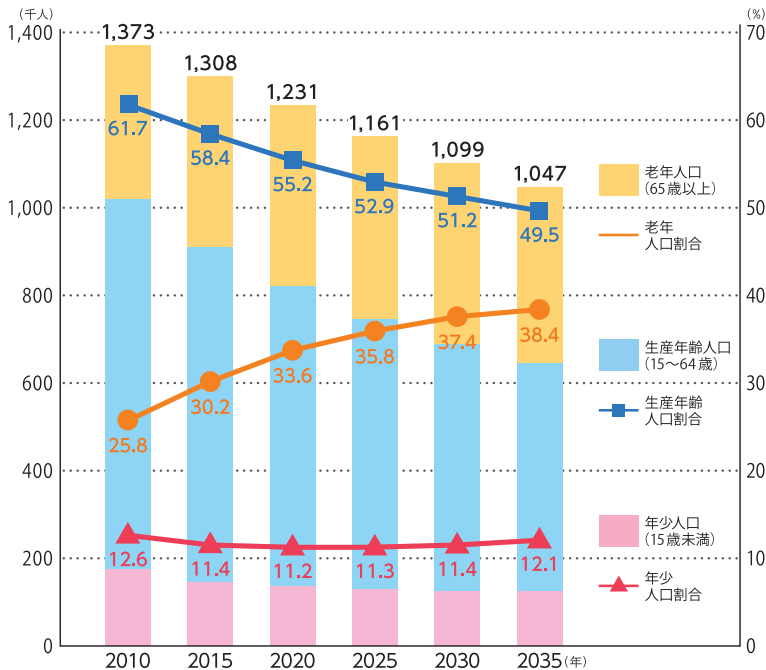
- 2020年** 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催
- 2021年** 青森県政150周年
北海道・北東北の縄文遺跡群世界遺産登録決定
(青森県では、2021年の登録をめざしています。)
- 2023年** 世界の人口が80億人に到達
- 2025年** 第80回国民スポーツ大会本県開催
超高齢化時代の到来
また、2030年度には、北海道新幹線全線
[新函館北斗～札幌間]の開業が予定されています。

世界のこれから

世界の人口は、アジア・アフリカの新興国を中心に増加する一方で、高齢化が進んでいきます。自由貿易が活発化し、経済成長を続けるアジア諸国への輸出拡大のチャンスとなりますが、外国産農林水産物の輸入増加など、各産業分野での世界各国との競合も考えられます。

「第4次産業革命」といわれるAI(人工知能)やあらゆるものがインターネットとつながるIoTなどの技術革新は、産業面だけではなく、健康、医療、金融、公共サービスなど、幅広い分野に影響を与えていくものと見込まれます。

■年齢3区分別人口・人口構成割合の推移と将来推計(青森県)



青森県の人口は減少傾向が続き、65歳以上の人口割合が高まり、15~64歳の人口割合は低下していくものと見込まれています。

日本・青森県のこれから

青森県の人口は、出生数の低下などによる自然減と、若者の県外への転出による社会減の両面から減少が続き、少子化・高齢化の進展により高齢者の割合が高まっています。

2025年には団塊の世代がすべて75歳以上となる超高齢化時代を迎えます。一方で、医療技術の進歩などにより、健康寿命が延伸し、「人生100年時代」の到来が見込まれます。

国は、先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展と社会的課題の解決を両立していく社会として「Society 5.0」の実現をめざしており、人口減少や超高齢化の進展に伴って生じるさまざまな課題の解決と、私たちの生活の質の向上が期待されています。

青森県のさらなる強化ポイント

青森県を取り巻く環境の変化に対応しながら、これまでの取組の成果はさらに伸ばし、直面する課題に立ち向かっていくため、次の視点を重視し、5つの戦略プロジェクトにより、重点的に取組を進めます。



5つの戦略プロジェクトを策定

放送局	番組名	放送日時
青森放送	大好き、青森県。	4月21日(日) 17:00~17:15
青森テレビ	みんなの県庁!	4月27日(土) 16:55~17:00
青森朝日放送	メッセージ	4月20日(土) 9:30~9:35

[2~5ページの特集記事に関する問い合わせ先] 企画調整課 ☎017-734-9129

4月

特集関連番組放送予定



【戦略プロジェクト④】
未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

支え合い、安心して暮らせる地域づくり

農山漁村集落は、県民の食と命と文化を育む「ゆりかご」として大切な役割を担っています。

地域全体で経済・雇用・暮らしを守る「地域経営」の推進、交通・買い物などの生活機能の維持・確保、保健・医療・福祉体制の充実など、いつまでも安心して暮らせる地域づくりを進めます。



【戦略プロジェクト⑤】
「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト

「やっぱりあおもり」 「いつかはあおもり」

一人でも多くの若者や女性が、「やっぱりあおもりがいい」、「いつかはあおもりに戻ってきたい」と思い、働き、暮らす場所として青森県を選んでもらえるように、青森県の「暮らし」や「しごと」に関する情報提供や、魅力ある生活環境づくり、移住相談体制の充実、結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくりなどに取り組みます。



2030年のめざす姿

「生業」づくりをさらに進めることにより、県民の生活が豊かになり、それがまた新たな「生業」を生み出していくという「生業」と「生活」の好循環をめざします。
この好循環により生み出される青森県の価値が「青森ブランド」として世界から高く評価され、県民もその価値を誇りに思う状態をめざします。

世界が認める「青森ブランド」をめざして

「選ばれる青森」の実現へ ~5つの戦略プロジェクト~

【戦略プロジェクト①】
「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト

大きな強み「食」と「観光」で世界へ!

豊富で高品質な「食」と、多彩な地域資源が自慢の「観光」は、青森県の大きな強みです。この2つのつながりをいっそう強め、「経済を回す」取組のけん引役として国内外に向けた取組を強化し、さらなる成長をめざします。



【戦略プロジェクト②】
多様なしごとと創出プロジェクト

「青森県で働きたい!」 魅力あるしごとづくり



青森県で自分らしい生き方を実現するためには、多様な魅力のあるしごとや働き方を選ぶことができる環境づくりが重要です。若者や女性による起業や、地域資源を生かした新しい産業が生まれており、さらなる創出を図ります。労働力不足に対応するため、各産業での働き手の確保や働きやすい環境づくり、生産性向上の取組を進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

SDGs(エスディージーズ)の理念を踏まえ計画を推進します

2015年9月に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、誰一人取り残さず、地球環境を壊さずに、より良い生活を送ることができる世界をめざすものです。「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」においても、その理念を踏まえながら取組を進めます。

基本計画をもっと知りたい

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」は県ホームページに公開しているほか、計画の内容や具体的な取組などを、県職員が直接訪問して紹介しています。お気軽にお問い合わせください。

詳しくは
青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦 🔍検索
問：企画調整課 ☎017-734-9129

【戦略プロジェクト⑥】
健康ライフ実現プロジェクト

県民誰もが 元気で活力ある 生活を送るために

平均寿命とともに、健康寿命を延ばしていくことで、生涯を通じて仕事や趣味を続けたり、地域活動に参加したり、元気で活力のある生活を送ることができます。県民が自分の健康を第一に考え、前向きに取り組んでいこうと思える情報を発信しながら、減塩や適度な運動など生活習慣の改善やこころの健康づくりなどに取り組みます。



・下北地域・

めざせ!
下北の「関係人口」拡大

下北以外で暮らしていても下北地域に関心を寄せ、継続的な繋がりを求める「関係人口」を増やし、地域の賑わいや交流を盛んにしていくため、市町村などと連携して受入体制づくりを進めます。

・上北地域・

四季を通じて
楽しめる上北観光

十和田湖・奥入瀬溪流エリアを核として、上北地域の豊かな自然景観や暮らし、歴史、文化、食などを生かした、四季を通じて楽しめる周遊・滞在観光を進めます。

・西北地域・

水田農業の進化による
「稼ぐ力」のアップ

広大な水田地帯を有する西北地域で、スマート農業を取り入れた稲作の超大規模経営体の育成、野菜に着目した中・小規模経営体の所得確保により、水田農業の進化に取り組みます。

・三八地域・

ポテンシャルを生かした
ものづくり産業の活性化

製造業の集積と高い技術力、教育・研究機関の充実、国際物流拠点など、三八地域のポテンシャルを最大限に生かして、地域企業の経営力強化や新たな成長分野への参入などに取り組みます。

・中南地域・

生産性向上で
「稼げる」中南農林業

米とりんごの里、津軽の桃やミニトマトも伸びている農林業のさらなる成長をめざし、高齢化や労働力不足に対応した効率的な栽培技術の確立や自動化技術の導入による生産性向上に取り組みます。

・東青地域・

健康でいつまでも
住み続けられる地域づくり

一人ひとりが主体的に食習慣や運動、喫煙などの生活習慣を改善するための普及啓発や環境づくり、生活機能の維持・確保や地域づくりに向けた地域コミュニティ活動の活性化などに取り組みます。

県内6地域 それぞれの挑戦

それぞれの地域の特性を生かした「生業づくり」や2025年超高齢化時代の到来を見据えた「青森県型地域共生社会」の実現に向けた取組を進めます。

Happy

「この自由な空間を有効に使ってほしい」と卓也さん。県南地域の作家さんを招いてクラフト

自身で直接調達するように心がけています。

「地元の人気メニューは近隣農家のごぼうを使った特製ホットサンド。コーヒーは県内で焙煎した豆を厳選し、使用しています。カフェで使用する食材はできるだけ自身で直接調達するように心がけています。」



14-54 Café
 十和田市稲生町14-54
 TEL.0176-78-9154
<https://www.14-54.com/cafe/>
 営業時間 8:30-17:30
 月曜日定休(祝日の場合は営業)
 ※詳しくは、Facebook [14-54cafe](#)



十和田市在住
 まさる
 安斉 将さん

「今年もこのスペースを使ったイベントやワークショップを計画中です」と楽しそうに語る中野渡さん

今回の推薦者

人をつなぎ地域をつなぎ世界平和を目指すコミュニケーションツール「ウマジン」デザイナー。十和田青年会議所と安斉研究所によって考案され、十和田市秋まつりでのウマジン100人パレードをはじめ、世界各地に出没活動中。平内町のトリジンなど、各地に〇〇ジンが増殖している。2014年度グッドデザイン賞受賞。ともだち募集中。



Profile

14-54 Café 中野渡卓也さん・実知さん

2018年4月オープン。もともと開かれた空間だった「14-54」に2人が来たことで、より多くの人が集うように。農家直送の旬の果物や野菜をふんだんに使ったドリンクやホットサンドを提供し、十和田の街中に「美味しい」を叶える新たな場所づくりを目指します。



十和田市

連載
 地元人がレポート!
 地域から魅力発信!
 ハッピー♡リレー
 vol.6 | 上北地域
 14-54 Café
 - 十和田市 -

地域の旬食材レシピ付

地域とのつながりを支えに、夢を描いていく

市を主催したり、地域づくりについて考える会や大学生による地域交流イベントなどに場所を提供してきました。彼らはカフェを通じて、人と人とのつながりを大切にしています。

2人にはまだたくさんの方の夢があります。クラフトビール醸造所の設立のほか、自身が先天性眼皮白皮症(アルビノ)と同時、地域を支える「地域の魅力」になることで



地域の農家さんとのつながりを大切に。



昨年5月に開催したクラフト市の様子



安斉さんが選ぶ地域の旬食材 しらうも

なごきPoint

オリーブオイルの量は使用する容器の大きさに合わせて、食材がかぶるくらいの量に調整しましょう!



食育料理家
 フードクリニック「なごきカフェ」
 オーナーシェフ

なごき なおこ

八戸市在住。病気の予防の食事をコンセプトにした旬のやさしいたっぷりの家庭料理が人気の「なごきカフェ」を経営。食育や調理指導など講師として全国で活動中。

このレシピは
アメプロ☆幸せなごきごはん
 にも掲載しています。

Healthy Point

- カルシウムとマグネシウムをまるごと摂取!
- ビタミンAとなるレチノールが豊富!
- 骨の生成に不可欠なミネラルたっぷり!



しらうおのアヒージョ

エネルギー:1,085kcal・塩分2.6g(4人分)

【材料:4人分】

しらうお	150g
マッシュルーム	6個
パプリカ(赤・黄)	各1/4個
ながいも	100g
にんにく	3片
鷹の爪	1本
オリーブオイル	120cc (材料が浸るくらい)
塩	小さじ1/2
こしょう	お好みで
パセリ	お好みで

【作り方】

- 1 にんにくはみじん切りにする。
- 2 ながいもは皮をむいて、小さめの乱切りに。パプリカは大きさを揃えてカットし、マッシュルームは半分に切る。
- 3 スキレットや小さめのフライパンににんにく、ながいも、鷹の爪、塩を入れ、オリーブオイルを材料が浸るくらい入れ、弱火にかける。
- 4 にんにくのいい香りがしてきたら、パプリカ、マッシュルーム、しらうおを加えて煮立てる。
- 5 しらうおに火が通ったらお好みでこしょう、パセリを加えて完成。

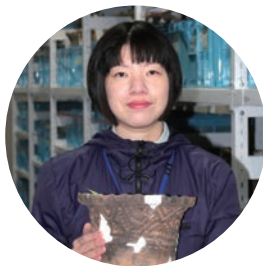
たまごアヒージョで
 簡単! 炊き込みピラフ!



残ったらタッパーに
 入れて冷蔵保存。

レシピアレンジの詳細はFacebook
 青森県広報広聴課

三内丸山遺跡から縄文文化の魅力を発信!



三内丸山遺跡センター
たてやま ゆかり
館山 友香理

縄文土器に囲まれ日々の業務を行う。似ている土器もよく見るとみんな違って面白い!

取組紹介

私は、世界文化遺産登録を目指す「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産の一つである、三内丸山遺跡の保存と活用を推進する仕事に携わっています。

三内丸山遺跡と縄文時遊館は、これまで、さんまミュージアムでの常設展示や講座・体験など、来館者の皆さまに楽しみながら縄文文化に触れていただけるよう取り組んできましたが、4月からは三内丸山遺跡センターとしてオープンし、三内丸山遺跡の魅力をより多彩な方法でお伝えできるようになります。

パワーアップした三内丸山遺跡センターでは、今年度も次の2つの取組を進めていきます。

取組①: 遺跡の発掘調査・保存及び公開活動

遺跡の保存のため、発掘調査による情報収集を行います。また、現地説明会などを行うほか、新展示収蔵施設では整理作業室をガラス越しに見学することができます。ここでは、出土した遺物が発掘調査報告書(図書館などで閲覧できます)に掲載されるまでの接合や図化などの整理作業の様子を実際に見ることができます。

取組②: 各種イベントや企画展・特別展の開催

新しい企画展示室では、三内丸山遺跡の出土品はもちろんのこと、国宝や重要文化財の展示も可能となりました。年4回の特別展・企画展の開催を予定しており、ギャラリーでも展示を行う予定です。

業務にかける思い

三内丸山遺跡は、日本を代表する縄文時代の遺跡の一つです。毎年の発掘調査では新たな発見があるので、三内丸山遺跡に「行ったことがある」という県民の皆さまにも何度でもお



土器を展示している様子



土器選定中

越しいただきたいです。発掘調査現場公開や特別展など、限られた期間の中でしか見られないものもありますので、お見逃しなく!三内丸山遺跡から、皆さまに縄文文化の魅力をお伝えできるよう、これからも日々努力していきます!

4/6(土) 三内丸山遺跡センター オープン
[3/18(月)~4/5(金) オープン準備のため休館]

詳しくは、[三内丸山遺跡](#) [Q検索](#) 三内丸山遺跡センター ☎017-766-8282

受動喫煙を防止しましょう

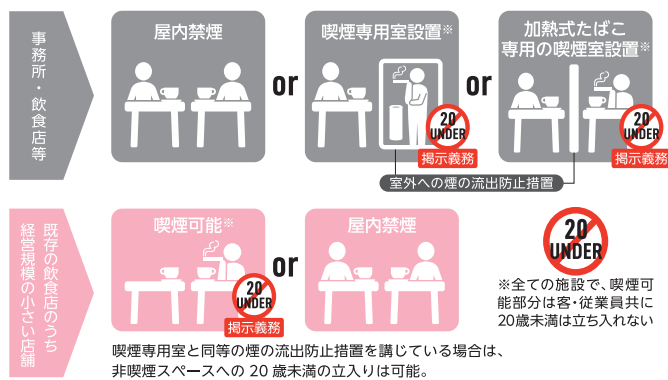
平成30年7月25日に望まない受動喫煙の防止を図るため、健康増進法が改正されました。

■主な改正内容

- ①国又は地方公共団体は、受動喫煙を防止するための措置を総合的かつ効果的に推進するよう努めるとされたこと【平成31年(2019年)1月24日施行】
- ②学校、病院、児童福祉施設、行政機関等の施設を第1種施設とし、原則敷地内禁煙とすること【2019年7月1日施行】
- ③第1種施設以外の多数の者が利用する施設を第2種施設とし、原則屋内禁煙とすること【2020年4月1日施行】

この法律の改正により、客席面積が100㎡以下の例外的に認められる飲食店を除き、受動喫煙を防止するための措置を講ずる必要があります。

■法施行後



県では、今後、喫煙・受動喫煙防止キャンペーンを実施するほか、企業・事業所などを対象とした説明会などを開催し、受動喫煙防止対策の強化に取り組んでいくこととしています。皆様のご協力をお願いします。

がん・生活習慣病対策課 ☎017-734-9216

むつ湾フェリー平成31年度運航開始



津軽半島の蟹田港と下北半島の脇野沢港を、わずか1時間で結ぶむつ湾フェリーが、今年も4月21日(日)から、1日2往復4便で運航を開始します。多客期となる4月28日(日)から5月5日(日)まで、8月10日(土)から17日(土)までの期間は1日当たり2便を増便して1日3往復6便で運行します。

4月下旬~6月下旬にかけては、むつ湾にやってくるイルカの群れと出会えるチャンス。風光明媚なむつ湾の青い海、津軽半島や下北半島を一望できるむつ湾クルーズの旅を、ぜひお楽しみください。

区分	蟹田港発	脇野沢港着	区分	脇野沢港発	蟹田港着
1便	9:20	10:20	2便	10:50	11:50
3便	14:00	15:00	4便	15:30	16:30

※運航時刻表は通常期のものです。
4月28日~5月5日、8月10日~17日は増便期間となり、運航時刻が異なりますので、お問合せください。

詳しくは、県庁 HP [むつ湾フェリー 平成31年度運航](#) [Q検索](#)
交通政策課 ☎017-734-9151

統計調査にご協力を 平成31年度実施の主な統計調査

統計調査員が事業者や皆様のご自宅に伺って調査をお願いしています。調査員がお伺いした際には、ご協力をお願いします。調査員は身分証明書を携帯しており、統計法で定める守秘義務が課せられています。

■平成31年度のみ実施(5年周期の調査)

経済センサス-基礎調査(調査期日:6月~11月) 事業所の活動状態を調べます
 全国家計構造調査(調査期日:10月~11月) 家計における消費、所得、資産及び負債の実態を調べます
 農林業センサス(調査期日:2020年2月1日) 農林業・農山村の現状と基本構造を調べます

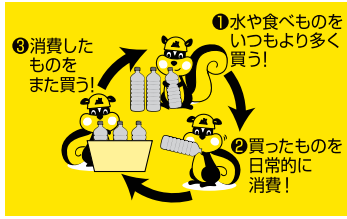
■毎月・四半期ごと・毎年実施

労働力調査、家計調査、小売物価統計調査、生産動態統計調査、商業動態統計調査、毎月勤労統計調査、工業統計調査、学校基本調査、学校保健統計調査

詳しくは、県庁HP [統計](#) [Q検索](#) 統計分析課 ☎017-734-9164~9169

みんなで防災!はじめよう災害への備え 家庭の備蓄・ローリングストック

皆さんの家庭で水や食料等の災害用備蓄は充分ですか? 県では、県民の皆さまに最低3日分の備蓄をすすめています。水や缶詰等を多めに購入して普段から食べ、食べた分を買い足す...これを続けることで無駄と無理のない備蓄が可能です。3月11日で東日本大震災から8年が経過しました。家庭で話し合い、今から災害への備えを始めませんか?



詳しくは、[青森 ローリングストック](#) [Q検索](#)

防災危機管理課 ☎017-734-9181

4月7日(日)は、 県議会議員一般選挙の投票日です!

投票日当日に予定のある方は、期日前投票ができます。家族で、隣近所の皆さんや友達で、職場の皆さんで、声を掛け合い、投票所に足を運びましょう!



■投票日/4月7日(日) 7:00~20:00

■期日前投票期間/3月30日(土)~4月6日(土) 8:30~20:00

※市町村の一部の投票所では、投票時間を変更していますのでご注意ください。

詳しくは、県庁HP [県議会議員一般選挙](#) [Q検索](#)

選挙管理委員会事務局 ☎017-734-9076

青森県職員になって 一緒に「選ばれる青森」へ挑戦しませんか?

平成31年度青森県職員採用試験を次の日程で実施します。

試験区分	受付期間	第1次試験
大卒程度	インターネット 5月8日(水)~ 5月13日(月)~	6月23日(日) 青森市・東京都
大卒程度・社会人枠	郵送・持参 5月13日(月)~ 5月28日(火)	
短大卒程度	8月5日(月)~	9月29日(日)
高卒程度	8月30日(金) インターネットは 8月28日(水)まで	青森市・弘前市・八戸市

試験概要や仕事内容などを紹介している「平成31年度版青森県職員採用総合案内(パンフレット)」を配布中! ホームページでご覧いただけるほか、県庁正面受付などでも入手できます。

詳しくは、県庁HP [青森県職員採用案内](#) [Q検索](#)

青森県人事委員会事務局 ☎017-734-9829

平成31年度一般会計 当初予算は6,650億円(対前年度比0.3%増)

平成30年12月に策定した「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」と「青森県行財政改革大綱」を踏まえ、財政健全化努力を継続しつつ、人口減少克服をはじめとする本県の重要課題に対応するため、各種施策に総力を挙げて取り組むこととしました。

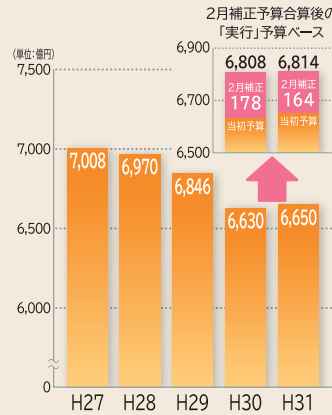
一般会計の当初予算額は、0.3%の増となり、4年ぶりのプラス予算となりました。また、一体として編成した平成30年度2月補正予算と合わせると6,814億円余となっています。

財政健全化に向けた取組

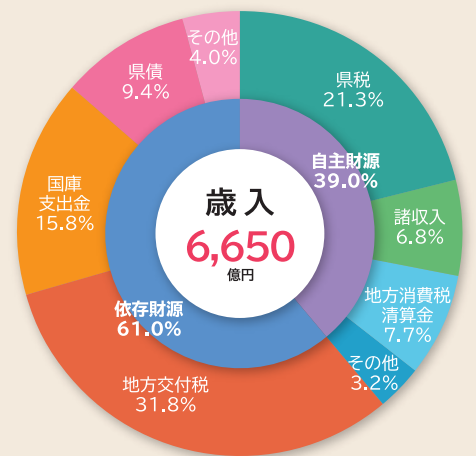
◎歳入環境が厳しい中ではあるものの、県の貯金である基金の取崩額は3年連続でゼロとなり、収支均衡を維持

◎県の借金である県債の発行総額を抑制し、県債残高はH31年度末で1兆680億円となる見込み(H30年度末見込対比352億円の減)

当初予算額の推移



平成31年度 一般会計当初予算



用語の解説

■一般会計

県の会計の中心となる会計。行政運営の基本的な経費全般。

■地方交付税

所得税、法人税、酒税及び消費税の一定割合並びに地方法人税の全額を、国が各地方公共団体に人口、面積、財政力などに応じて交付する税。使いみちは各団体が自由に決められる。

■国庫支出金

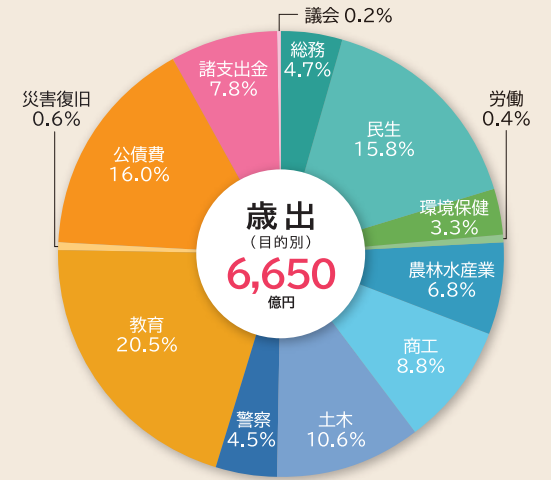
特定の事業を行うために国から交付される負担金、補助金及び委託金。

■県債

県の長期借入金。原則として、道路や学校などの公共施設の整備に必要な資金に充てられる。

■公債費

過去に借り入れた県債の元金の返済や利子の支払いなどの経費。



財政課 ☎017-734-9036

みなさんと県庁を結ぶ 県政インフォメーション
 テレビ ■ RAB「LINK/青森県」(30秒スポット) ■ RAB「大好き、青森県。」(第三日曜日) 17:00~17:15 [放送週が変更になることがあります] ■ ATV「みんなの県庁!」(土) 16:55~17:00 ■ ABA「メッセージ」(土) 9:30~9:35
 ラジオ ■ RAB「青森県広報タイム」(月)~(木) 7:30~7:35 ■ エフエム青森「あomorいふあん」(月)~(金) 16:55~17:00
 新聞 ■ 「広報あomorいけん」(毎月1日・16日) 東奥日報・デーリー東北・陸奥新報
 HP/Twitter ■ 県のホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/> ■ 青森県庁Twitterアカウント (@AomoriPref)

編集発行 青森県広報広聴課 〒030-8570 青森市長島1-1-1 ☎017-734-9137 ※「県民だよりあomorい」は点字版・録音版も発行しています。ご希望の方は広報広聴課までお知らせください。
 ※今後の広報紙制作の参考とするため、「県民だよりあomorい」に関する皆さまのご意見・ご感想を郵送でお寄せください。

この印刷物は522,000部作成し、印刷経費は1部当たり9.3円です。